

第九小学校の歴史

	年月日	出来事	児童数
明治	6.1.20	観音寺を仮校舎として、第28番小学敬業学舎開校式典を行う。 下早川田、上早川田、傍示塚、足次、大新田、岡野、高根、木戸、成島の9カ村連合の学校として生まれた。	54
	6.8	児童数が増えたため、下早川田村に一番分校を設置	
	8.6	児童増と通学のため、第2分校を高根村に設置。(高明学舎)	119男 108女 11
	8.8	栃木県小学校則を制定。 ・入学は毎年1月4月7月10月の4度とし、満6歳以上14歳以下の子を学区の内外に関係なく入学を許す。 ・夏日休業7/20～8/21、冬日休業12/25～1/7 ・郷村社例祭の日、孝明天王祭、紀元節、神武天皇祭、神嘗祭、天長節、新嘗祭を休業日とする。	
	9.4	これより、日曜日を休日とする。土曜日は正午12時より休み。	104男 95女 9
	9.9	群馬県の学校となる。	
	10.5	26番小学敬業学舎と校名変更	
	12	記事なし	85男 76女 9
	14	記事なし	91男 83女 8
	15	記事なし	121男 96女 25
	16	記事なし	122男 102女 20
	17	記事なし	237男 168女 69
	18.2	高中初等邑楽第17小学校と校名変更	250
	19.3.31	邑楽第23尋常小学校と校名変更	
	20.3	第241学区、足次尋常小学校と校名変更	140男 112女 28
	21	天長節(天皇誕生日)に児童全員に餅菓子を初めて配る。これ以後、四方拝1/1、紀元節2/11と合わせて3回、配るようになる。	176男 144女 32
	22		186男 157女 29
	23.6.6	6村合併し、渡瀬村となり、校名も渡瀬尋常小学校と変更。	224男 176女 48
	24		207男 154女 53
	25		216男 164女 52
	26.4.3	神武天皇祭なので、新入生の入学式を本校として初めて行い、児童全員に餅菓子を配る。	189男 144女 45
	27		220男 163女 57
	28.4.11	日清戦争で戦死した足次村出身阿部徳太郎氏の葬式に、教員児童一同参列する。	212男 149女 63
	29		318男 234女 84
	30		300男 222女 78
	31		305男 215女 90
	32		317男 225女 92
	33		309男 219女 90
	34	本年度より授業料を取らないことにする。	354男 231女 123
	36		488男 269女 219
	37		270男 142女 128

	3 9 . 6 . 28	第 1 回児童学芸会を開く。	264 男 136 女 128
	6 月	花壇を作り観賞植物を栽培する	
	4 0		280 男 145 女 135
	4 1 . 10. 24	校地を村役場東(現在地)と決定する。	299 男 153 女 146
	4 2		199
	4 3 . 3 . 20	新校舎完成	391 男 217 女 174
大 正	4 3 . 4	高等科を併設し渡瀬尋常高等小学校と校名変更	
	8 . 11	数日來の豪雨により午前 8 時ごろ多々良村にある矢場川堤防が決壊。午前 10 時ごろ傍示塚、11 時ごろ下早川田の堤防がそれぞれ決壊。浸水家屋 360 戸、流失家屋 7 戸、つぶれた家 7 戸。本校東西北の 3 方向から濁流が襲ったが周囲の小さな堤防のおかげで浸水しなかった。	
	2		402 尋 366 高 36
	4 . 11. 2	砲兵 600 人余りが渡瀬村に宿泊。軍馬 150 頭本校校庭に宿泊	401 男 222 女 179
	5 . 5/30-6/3	養蚕休業	
	6 . 7. 13	水泳練習の場として下早川田村の渡良瀬川をあてる。	
	1 0	尋常 5 年生以上の男子を東西 2 軍に分け、それぞれ上・下早川田村から進軍、渡良瀬川堤防上にて合戦を 10 数回行う。(訓練)	
	1 2 . 9. 20	少年赤十字団設立	
	11. 22	第 1 回マラソン大会。下早川田から堤防に上り上早川田より学校に戻る(尋常 5 年以上参加)	
	1 3		410 男 214 女 196
	1 4		518 男 262 女 256
	1 5 . 1	増築校舎(二階建裏校舎)完成	516 男 269 女 247
昭 和	2		532 男 268 女 264
	3	学務委員荒井始八郎氏より桜苗 39 本いただく	
	4	学務委員荒井始八郎氏より桜苗 27 本いただく	538 男 269 女 269
	5		579 男 289 女 290
	6		573 男 275 女 298
	7		585 男 287 女 298
	8		580 男 291 女 289
	9		523 男 247 女 276
	1 0		578 男 300 女 278
	1 1 . 9. 18	防空演習を行う	
	1 2 . 9. 19	出征兵武運長久戦勝祈願祭を行う。	
	12. 1	児童文集「せせらぎ」を渡瀬村出征兵に郵送	
	1 3 . 7. 29	高等科児童、集団勤労訓練として館林飛行場の草取りを行う。	
	1 4 . 9. 13	村民一同校庭に集合し、応召者の歡送式を行い、音楽隊を先頭に吹奏しつつ駅まで見送る。	
	1 6 . 3. 31	邑楽郡渡瀬村尋常高等小学校と校名変更する	
	4. 1	邑楽郡渡瀬村国民学校と校名変更する	
	1 7 . 5. 27	渡瀬村出身の飯塚惣吉氏より寄贈された二宮尊徳像、校舎玄関前にて建立除幕式を行う。	
	1 9 . 1. 18	ドングリ 24 俵、発送	
	4. 26	食糧増産のため、翼賛かぼちゃの種を渡瀬堤防にまく。	
	5. 16	村内の道路、土手に大豆の種をまく	

	11.10	海軍志願試験に 16 名合格	
	11.27	高等科、勤労報国隊結成。中島飛行機館林分工場に勤務	
	20.2.25	米軍小型機 10 数機による本校銃撃あり。被弾約 60。瓦その他に被害あり。人や重要施設には被害なし。	
	7.14	海軍志願兵試験 6 名合格	
	21.12.9	ドングリ集荷 23 俵	
	22.4	六・三制実施に伴い渡瀬村立渡瀬小学校と校名変更 渡瀬中学校設立。小学校の元高等科教室を使用	
	23.7.24	茶摘み	
	8.27	中学生、新校舎に移転	
	25.3.25	寄贈による二宮金次郎石像除幕式	
	29.3.29	新校舎完成	
	4.10	町村合併により、館林市誕生。館林市立渡瀬小学校と校名変更	
	33.6.20	農繁期のため短縮授業(この年まで行っていた記録あり)	
	41.4.1	館林市立第九小学校と校名変更	
	8.27	体育小屋完成	
	42.7.21	プール完成。建設資金として足次出身の牧野佐吉氏より 200 万円の寄贈があった。	
	43.2月	校歌ができる	
	49.11.13	創立 100 周年記念式典を開く。	
	53.4.8	学校給食実践推進指定校を受け、米作り体験学習始まる。	
	6.24	第一回の田植え実施	
	10.2	新校舎落成式を行う。	
	10.5	旧中学校校舎解体	
	10.29	初の稲刈り	
	12.9	新米感謝カレー会食(16. 23 日の 3 回)	
	54.1.27	新米感謝餅つき大会(親子・教師参加)	
	3.8	体育館落成式	
	9.22	かかし祭り	
	55.10.30	学校給食研究、文部大臣より表彰	
	56.12.11	給食指導視察のため、千葉県給食研究会 21 名来校	
	57.4月	勤労生産学習指定を受ける。(文部省)	
	57.9.14	体育館東学年園造成	
	11.24	東京都花ノ木小学校職員、勤労生産学習(米作り)先進校としての本校を視察	
	58.10.27	勤労生産学習研究発表会を行う。	
	59.2.28	勤労生産学習推進校研究発表大会(東京)に参加	
	60.6.26	5 年生横浜市間門小学校で交流学習(2泊3日)を行う。	
	61.7.29	横浜市間門小学校 4 年生 121 名交流学習のため来校(2泊3日)	
	63.3.10	新校舎完成。校庭整地、築山(わたらせ冒険ひろば)、バックネット、藤だな、物置、屋外便所、プール更衣室・便所設置	
	4.30	海拔碑設置。岡野区長川島一二氏寄贈	
平成	元.12.28	平和と愛の鐘設置	
	6.2	創立 120 周年記念式典。	
	7.3	八木節後援会発足。	
	9.12	西側花壇設置工事完了。	

	1 2 .4 7	全日本花いっぱい大会へ八木節隊参加 たてばやし祭に八木節隊参加	
	1 5 .9	マルチャー市訪問団ホームワット校来校	
	1 7 .1 4	読み聞かせボランティア発足 県食農教育モデル校の指定を受ける。(2年間)	
	2 1 .4	県食農教育モデル校の指定を受ける。(3年間)	
	2 2 .10	「米づくり」が特色ある教育活動として県より表彰される。	
	2 3 .6	各教室にエアコン設置	
	2 5 .1	第2回ぐんま・スクール・オブ・ザ・イヤー優良賞受賞	
	2 6 .3	140周年記念事業 タイムカプセルを埋める。	
	2 7 .2	体育館耐震改修工事完了。	
	3 0 .1	平成29年度優良PTA群馬県教育委員会表彰	
令和	2 .4	コミュニティスクールモデル校の指定を受ける(2年間)	
	4 .2	すべり台新設	
	4 .11	ジャングルジム、バスケットゴール新設(地域の有志寄贈による)	
	6 .3	トイレ改修工事完了	